

第1回飯綱町しなの鉄道活性化協議会 議事録

日時：平成25年1月17日（木）午後7時から

場所：飯綱福祉センター3階 大会議室

（原企画財政課長）本日は大変寒い中、また、雪の多い中をご出席いただきましてありがとうございます。只今から第1回飯綱町しなの鉄道活性化協議会を始めさせていただきます。先ほど委員さんの中でお間違えになられたというお話しがありましたが、現在、並行在来線に関しましては本日発足いたしますこの飯綱町しなの鉄道活性化協議会と牟礼駅周辺整備計画検討委員会、それから任意団体でございます飯綱町牟礼駅マイレール応援団があります。この20日にマイレールがあり、30日に周辺整備があるということで続いておりますのでお間違えになられている方がおいでですが、この会議は今回初めて開催するものです。何を協議するのかということですが、しなの鉄道活性化協議会設置条例を臨時議会で制定いたしました。その第1条で地域の発展と地域住民の移動手段を確保するためにこの協議会を設置するというものであります。具体的な協議内容につきましては、しなの鉄道株式会社の運営路線の利用促進と利便性の向上に関する事。地域住民の日常生活に必要な公共交通機関のあり方に関する事。それと、その他目的を達成するために必要な事項ということで協議をお願いするものでございます。本日、具体的に協議をお願いしたい項目につきましては、牟礼駅の駅名に関するアンケート調査の結果を踏まえてご意見を頂戴したいということでございますのでよろしくお願い致します。それでは、最初でございますので相澤町長からご挨拶を申し上げます。

（相澤町長）みなさんこんばんは。今、担当の課長からもお話しがありましたが、大変寒い中、足元の悪い中、そして一日のお仕事でお疲れの中をしなの鉄道活性化協議会の第1回目の会合ということでご参集いただきまして誠にありがとうございます。今も話の中にございましたが牟礼駅周辺に関する会議は三つございまして、これが一番最後に立ち上がった大事な会議でございます。一つはマイレール応援団、もう一つは駅前開発の関係の牟礼駅周辺整備計画検討委員会、そしてこの、利用促進や活性化を図り多くの町民の皆さんにご利用いただき、長野以北並行在来線がプラスの方向に向かうように皆さんからご意見をいただくものでございます。どうか、忌憚のないご意見をいただく中で、しなの鉄道が益々利便性を増し、そしてまた多くの町民の皆さんに活用いただけるような会社になりますように期待するところでございます。町も一生懸命取り組んでまいりたいと思いますので貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日はご苦勞さまでございます。

【委嘱書交付】

【自己紹介】

【正副会長の選任】

※会 長 畑田恭貴

副会長 土倉武幸

副会長 丸山愛子

(畑田会長) 先ほど課長からも説明がありましたが、会議の進行は会長が行うこととされているようですので始めさせていただきます。皆さんのお手元の配布資料の5番、協議事項等の中で(2)の飯綱町しなの鉄道活性化協議会設置条例及び同協議会運営規程につきまして事務局から説明をお願いします。

(原企画係長) 説明

(畑田会長) ありがとうございます。申し遅れましたが、質問等につきましては全議案の説明が終わった後、受けていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。続きまして、(3)の長野以北並行在来線経営基本計画及び開業準備事業に対する補助、出資計画等についての説明をお願いします。

(原企画係長) 説明

(畑田会長) ありがとうございます。(4)から頭を切り替えていく必要がありますので、只今説明を受けました(2)並びに(3)につきまして何かご質問等がありましたらお願いしたいと思います。

(丸山市世委員) 鉄道の料金は7ページのように、しなの鉄道の現行運賃並みになってしまうのですか。

(原企画財政課長) 激変緩和も含めて平成25年度の並行在来線の協議会の中で決定していくということです。これが決定ではございません。相当審議の余地はあるのかなと思います。

(丸山市世委員) 利用の促進と相反するような気がします、経営から見ればやむを得ないと。

(原企画財政課長) 一番利用が見込める定期の部分がグンと上がってしまうから、補助をして3年くらいでその位置まで持っていか、なかなか難しいところがあります。市や町の負担の関係ですとか。私どももちょっと上がり過ぎだなという認識はあります。ただ、上がるということは承知しておいていただいたほうがいいと思います。

(黒柳博子委員) 7ページで、豊野駅は直接管理し他の駅は市町に運営を委託すると書いてあって、その下にトイレを限定して市町が管理することになっていますが、駅自体のものについてはしなの鉄道が持っているということになるのですか。

(原企画財政課長) 駅の構内にあるトイレについては撤去したいという考えです。電車内のトイレについても今のところは設置しないという方向で検討されています。経営が厳しくなるということで省けるものはなるべく省くという方針です。私も協議会の一員になっていきますので、そういうご意見があるということは伝えてまいりたいと思います。

(黒柳博子委員) 次に9ページの要員というところで、60人程度増員するということですが、これは地元優先と考えてもよろしいでしょうか。

(原企画財政課長) 長野以北が延長になることによって60人を確保しなければいけないということですが、事務的なことなら分かりませんが採用してすぐできるというものではありませんので、難しいと思います。

(黒柳博子委員) 負担金のところですが、駅が何個あるかによっても変わってくるようですが、新駅を設置した場合、負担金は変化するのですか。

(原企画財政課長) 新駅ができてここにも反映はされないと思います。ただ、長野市みたいに乗車密度が高いところならいいですが、地元が相当負担しなければ新駅を建設できないので、うちみたいなこれだけの距離のところ、また山あいのところで費用対効果の面を考えますと駅を二つ持つ必要があるのかどうかという部分もあります。新駅ができたから負担金等が変わるというものではありません。

(畑田会長) 他にないようですので、初めての会議で大雑把な説明であったかと思いますが、よく読んでいただいて、ご不明な点がございましたら次回の会議で出していただければと思います。それでは次の(4)牟礼駅駅名に関するアンケート調査結果について説明をお願いします。

(原企画係長) 説明

(畑田会長) ありがとうございます。今、「牟礼駅」駅名に関するアンケート調査結果について説明がありました。この件について質問等がありましたらお願いしたいと思います。

(原企画係長) よろしいですか。昨年12月にマイレールさんでこのアンケートについて話し合いを行っておりますので、世話人さんからその結果をお話いただければと思います。

(丸山市世委員) 今お話しがあったわけですが、今回の内容についてはアンケートを提出しなかった裏にあるものの分析も加えてもらっているので、この前に話をしたものの更に意見を補完していただいたものなのかなと思っております。

(原企画係長) 補足ですが、12月にマイレールの話し合いを持った時にはストレートにこの協議会に結果を申し上げていくというふうにごまかしたということがございます。アンケートを尊重すると。

(畑田会長) 何か質問等はございますでしょうか。ないようですので今のアンケートに関する結果につきまして、説明を受けたことをご判読いただき、次回の会議の時に質問があれば出していただきたいと思います。それと、3ページの4番にありましたけれども、今後の予定になろうかと思いますが、このよ

うな計画の中で駅名を牟礼駅で行くのか、協議をしていく中で新たに変更をしていくのか次回の中で検討していただきたいと思いますので、その方向でよろしいでしょうか。

(土倉副会長) 二つほど確認したいんですが、駅名を変えることによって掛かるリスク、先ほど費用はいずれにしる掛かるというお話しでしたが、どっちになっても一切変わらないということですか。ハードルが上がるとか下がるとかは無いということですね。

(原企画係長) しなの鉄道からもし駅名を変えるのであればスケジュール等があるので3月中に返答をいただきたいというふうに言われています。

(土倉副会長) 変えるということですか、駅名を決めろということですか。

(原企画係長) 駅名を牟礼駅から何とか駅に変えるということであれば、その駅名を3月中にしなの鉄道に報告しなければならないということです。ただ、駅名を変えるにしる変えないにしる掛かる費用は2,800万です。駅名を変更したから変わるというものではありません。

(土倉副会長) アンケート結果を見て思うんですが、人間は変化が嫌じゃないですか。「牟礼でいいじゃん」というふうに私も思ってしまうんですが、考え方としてまず真っ新にして、鉄道会社も変わるわけですから、新しい線路がここにひかれて新しい駅ができるんだというような気持ちになって考えたときにどうなのかなというふうに考える必要があると思います。

(小林直樹委員) 今の土倉さんの質問に少し付け加えるとすれば、一番この飯綱町で大事だったことは三水と牟礼が合併する時。今、牟礼駅を変更する時。非常に大事なターニングポイントだと思うんです。こういう時に3月までに決定しろと言われても。例えば将来的に合併の話が出てくるかもしれない。信濃町と飯綱町が一緒になった方がいいんじゃないか、あるいは長野市にそのまま組み入れた方がいいんじゃないかという話が必ず出てくると思うんです。その時の予行練習としても、今、土倉さんが言われた様に面倒だから今までと同じで良いという意見が圧倒的に多いと思うんです。学習をするならば一つの案として区とか組に持ち帰ってざっくりばらんに話し合うそういう場を設けてからアンケートを実施するとか、一気にアンケートでどうだと言われても面倒だから答えないという人が多いと思うんです。合併だとか駅名を変えるだとかこの町のイメージを左右するようなことは一度ワークショップをしておいてディスカッションをしてからアンケートをするというような形にすると多くの方に回答いただけるのではないのでしょうか。今みたいに10%、20%で決めろと言われても、おそらくモヤモヤとしている方が5、60%いる中で決定していくというようなことが本当に多くなると思うんです。これからの行政の持っていく方とすれば大事な問題に関しては一気にやるのではなく、もうワークショップ、区とかにおろしているいろんな方の意見を聞く期間をある程度設けてからアンケートを実施することも検討してもいいのではないかと思います。迅速にやるのが良い場合もありますが、重要なことに関してはそういうことも必要かなと思います。

(原企画財政課長) 平成 24 年の 4 月にしなの鉄道が引き受けを正式決定しました。それで、平成 25 年の 3 月までに結論を出してほしいということで 1 年もないわけです。そのため、今回の場合は短縮せざるを得なかったというのが実際です。小林委員さんがおっしゃるようにアンケートから結論までの期間が短いということは重々承知はしているわけですが、スケジュールの中でこのようにせざるを得なかったことをご理解いただきたいと思います。私どもも軽々しく見ているわけではなく、重要だと認識しているので議会の議決が必要な条例を制定しているところです。

(丸山市世委員) 我々のところにお話しをいただいたのが 10 月で、そのアンケートの素案についてどうするかということをお話ししました。1 世帯に対して 1 枚なのか 2 枚なのかという話や回答用紙を求められたら全員に配布しようという話もあったわけですが、そうすると分母が固定しなくて困るだろうと。いろんな協議をした結果、このようなアンケートの形になったのでご理解をいただきたいと思います。

(小林直樹委員) 全く反対しているわけではなくて、ただ、合併問題とか本当に大事な問題に関しては、こういう短いスパンでのアンケートのとり方ではかなり反発が出てくるので、今言ったように 1 年くらいかけてじっくりばらんな話しの中でたたき台をつくるとかして、その後アンケートを出すようにすれば 50%、60%のアンケートが返ってくるのではないかという提案です。これはこれで短い期間で一生懸命やっただいているなというふうには思います。この会で真剣に話し合っただけで決めていく方法でいいと思います。

(中澤益保委員) よろしいですか。1 ページのところには駅名の変更を検討する理由というのは載っているんですが、逆の変更は必要ない理由というのはまとめてあるんですか。

(丸山主査) 書く欄を設けてはなかったわけですが、敢えて書きたい人が書いてきた意見はあります。アンケートを実施する時に変えない理由の欄を設ける話もしたんですが、あまり面倒にすると書いてくれる人が少なくなるとの理由からその部分を省きました。敢えて書きたい人は歴史ある「牟礼」という名前をなぜ変えなくてはいけないのかという意見が多かったです。

(畑田会長) 他にありますか。今、土倉委員さんと小林委員さんからいろいろご意見が出ましたが、今後、アンケートをとるようなことがありましたら、早めにこの協議会で協議をしながら皆さん方に徹底をしていくということでよろしいですか。この皆さんからのアンケートを基にして次回の会議の中で審議をしていきたいと思っております。

【その他】

【閉 会】